

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
M212V403		地域看護活動展開演習 (Community Health Nursing Practice)					地域看護学									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
必修	2	4	医学部看護学科	後期	他	日本語			複数(共同)							
担当教員	氏名 金崎理子・後藤奈穂・箕原靖子 E-mail kanezakiyako@oita-u.ac.jp 内線 5095															
授業の概要	これまでのすべての実習経験や学びを統合し、地域看護学実習で体験した事例を中心に、個人・家族を単位とした継続支援、さらに地域の健康課題解決にむけた保健福祉事業をさらに発展させるための計画の検討をとおして、地域看護活動の実践・評価・施策化の基礎的能力を培う。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	地域看護活動の課題について検討し、看護の機能を発展させるために具体的な取り組みを考えると共に評価の視点を説明する。															
目標2	実践活動に役立つ研究的取り組みの必要性について述べる事ができる															
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							4			2			2	2		
授業の内容																
1	コースオリエンテーション/事例検討に関するオリエンテーション															
2	～ グループワーク：個別事例援助(ニーズの明確化・援助計画の立案)															
3	グループ間討議：検討事例の共有・援助計画の検討															
4	～ グループワーク：個別事例援助(事例のまとめ)															
5	～ グループワーク、グループ間討議：家庭訪問を通じた地区活動の展開についての検討															
6	保健事業の共有と保健師の役割に関するオリエンテーション グループワーク：行政施策における次行の位置づけの明確化															
7	～ グループワーク、グループ間討議：保健事業の評価と次年度計画の立案															
8	～ 次年度計画の修正															
9	地域看護活動の特徴と看護の機能についてのまとめ															
10																
11	全体討論															
12	第2部(保健事業の次年度計画)に関するオリエンテーション															
13	グループワーク：保健事業の共有と選定															
14	グループワーク：保健事業の評価															
15	グループ間討議															
16	、 グループワーク 教員とディスカッションを設けながら次年度計画立案															
17	グループ間討議															
18	、 グループワーク：討議の結果をふまえて次年度計画立案															
19	全体討論															
20	グループワーク：保健事業事例集の完成 まとめ															
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
ラーニング	A:知識の定着・確認	A:実習記録・資料の整理					工 夫 其 他 の	・実習での体験をもとに、今後の具体的な取り組みを考える。 ・学生間で意見交換する機会を頻りに設ける。								
	B:意見の表現・交換	B:グループワーク・グループ間討議での発問														
	C:応用志向	C:グループ・グループ間での検討														
	D:知識の活用・創造	:事例集の作成														

授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	各自が実習記録・資料を整理し、教科書・参考書等と照らし合わせて学習する(6h)										
	事後学修	完成した事例集などを活用し復習する(3h)										
	想定時間合計											
教科書	これまでの講義・実習で用いたテキスト・資料等を活用する											
参考書	これまでの講義・実習で用いた参考資料等を活用する											
成績 評価 の 方法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	グループワークの参加態度・貢献度	15%										
	グループワークによる成果物	35%										
	課題レポート	50%										
注意事項												
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	保健師(保健所、市町村、事業所、病院)											
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	保健師活動の実実践経験を活かし、地域看護活動における課題や取り組みおよび評価視点について、具体的に助言し学生の学びを支援する。											